



双葉ヶ丘だより

令和2年5月号
八田中学校

ブロック・学校教育目標 『未来を切り拓く子どもの育成』

「夜明けの来ない夜はない」

私たちが生きている間に一度起こるかどうかと思っていたようなことが、この10年間で何度も起こっているような気がします。震災、台風、豪雨・・・そして、感染症。

「おはようございます」いつもなら、元気で明るい挨拶の音が、学校中に響きわたっていますが、今は、とても静かです。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、5月31日まで、休みが続きます。

朝6時頃に起きて、7時過ぎには家を出て学校へ。8時25分には教室に入り、朝読書・朝のHR・6時間の授業、仲間との交流、放課後に部活動に参加し、17時30分完全下校という当たり前のように過ごしていた生活ができないのはとても辛いことです。

皆さん、毎日、自宅でどのように生活していますか。何をすることも健康第一です。絶対に崩してはいけないのが、生活リズム。特に、起床・就寝時間・普段学校へ行く日と同じ時間に起きる、寝ることを心がけましょう。そして、今日から残り21日間をどのように過ごすかです。

504時間-睡眠時間【 】時間-一家の手伝いをする時間【 】時間
=自分のために使える時間【 】時間。

※ 中学生の理想的な睡眠時間は、8時間半 現実的には、7時間とされています。

学校が始まったら、自分のために使える時間は限られてきます。ただ始業を待つのではなく、自分で何かを始めましょう。

今しかできないこと・今できること

- ・家族と一緒にいる時間が多くなりました。自分のこと、家族のこと、将来のことなどを話し合う。
- ・今こそ、自分の好きな本を沢山読み、文字との対話を楽しむ。
- ・今まで学習した教科書・ノート・問題集など、じっくりと振り返って確認する。

具体的には、時間をきっちりと決めるよりも、学習内容を決める方が良い。どの問題集・プリントの何ページに取り組むか。また、自分で取り組みたい内容をじっくりと、納得しながら習得するなど。

もう一度1日の生活リズムを確認し、勉強、家の手伝い、読書、運動、余暇、睡眠(起床・就寝)を書き出して、リズムを整えていきましょう。不自由な生活となりますが、必ず通常の生活が出来る日は来ます。それまで、しばらくの間我慢です。教職員一同、生徒の皆さん一人ひとりの健康を切に願っています。元気な姿で授業ができる日を、心より待っています。

校長 梅原良典

部活動正式入部

1年生の部活動仮入部期間を終え、4月17日(金)に正式入部となりました。この日は各部ごとに部活動総会があり、部長から活動についての目標や方針、自己紹介などがありました。いよいよ新年度の活動がスタートしました。

令和2年度部員数(4/17現在)
野球部16名
男子バスケットボール部8名
女子バレーボール部15名
女子ソフトテニス部13名
吹奏楽部25名



めざす生徒像

自ら学び、自ら考え行動する生徒
自分を大切に、人を大切にする生徒
健康でたくましく生きる生徒

行事予定



5/1現在の予定です。新型コロナウイルス感染症対策のため日々状況が変化していますので、都度、安心安全メール及びホームページでお知らせいたします。

5月の学校行事		5月
7	木	登校日 職員会議
11	月	登校日
14	木	校内研究会 PTA本部役員会
18	月	登校日 職員会議
25	月	登校日
29	金	登校日
6月の主な学校行事		6月
2	火	あいさつ運動
3	水	ブロック研究会
4	木	検尿1次検査
7	日	中丹管内公立高校説明会(総部会場) 中止
9	火	心臓検診 延期
15	月	職員会議
16	火	職場体験学習(2年) 延期
17	水	職場体験学習(2年) 延期
18	木	職場体験学習(2年) 延期 第2回PTA合同委員会(予定)
25	木	高校説明会(2,3年) 中止
28	日	授業参観・地域懇談会(検討中)

1学期中間テスト・・・中止
各種検診(内科・眼科など)・・・2学期に延期

対面式



4月19日(日)生徒会主催の対面式を行いました。八田中学校では新入生を歓迎する会を「対面式」と呼び、年度初めの生徒会行事として大切にしてきました。新型コロナウイルス感染防止対策として時間を短縮し、幼稚園との対面もなしとし、マスク着用で実施しました。

今年は26名の新入生を迎え、全校生徒77名で温かい歓迎ムードに包まれた行事になりました。

新入生は練習もできなかったことから、今年は合唱ではなく決意表明をしました。「部活動と勉強を両立したい」「8コマ学習を頑張りたい」「充実した中学校生活を送りたい」など、これからの中学校生活への力強い発表となりました。



PTA総会(書面議決)お世話になりました!

本年度のPTA総会は集会の形式では開催せず、紙面による審議となりました。議決書の提出については、5月7日に締め切りました。議決では、賛成が63票 反対0票 委任が13票という結果で、本部と各委員会の方針や活動計画について承認いただきました。

今年度の八田中学校 PTA活動スローガンは、「家庭・地域・学校が一丸となり、『心と体』そして『絆』を大切に、優しく笑顔あふれる子どもに育てよう。」です。このスローガンの下、三位一体で頑張っていきたいと思っておりますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いたします。



<4/13 合同委員会の様子>

八田ブロック「キャリア・パスポート」について

今、学校現場に「キャリア教育」の充実が求められています。新学習指導要領も、学ぶことを、働くことや生きることに結び付け、学習意欲を向上させることを期待したものになっています。

キャリア教育とは、「一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通じて、キャリア発達を促す教育」です。

そこで、この八田ブロックでも小中一貫教育の重要な取組として「キャリア・パスポート」を作成しています。学校で学ぶすべての活動、つまり、各教科、特別の教科道徳や総合的な学習の時間などの授業や学級での係活動・生徒会活動・部活動など、すべての活動を通して次の「4つの能力」を付けさせたいと考えています。



※ キャリア教育で伸ばしたい「基礎的・汎用的能力」(4つの能力)

- ① 人間関係形成・社会形成能力・・・他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等
- ② 自己理解・自己管理能力・・・自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等
- ③ 課題対応能力・・・情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等
- ④ キャリアプランニング能力・・・学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等

文部科学省の「キャリア・パスポート」の解説

● 「キャリア・パスポート」の目的

小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につながるもの。教員にとっては、その記述をもとに対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導に資するもの。



● 「キャリア・パスポート」とは?

新学習指導要領特別活動において、「学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の(在り方)生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、(児童)生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。」と明示されています。その「蓄積する教材等」が「キャリア・パスポート」です。

● 「キャリア・パスポート」の様式

文部科学省は「キャリア・パスポート」の様式を例示しているが、これをそのまま使用するのではなく、各地域・学校の実態に応じて柔軟な工夫を行い、効果的な指導を展開することが期待されています。また、「キャリア・パスポート」は小学校入学から高校卒業まで、学年、校種を越えて持ち上ることを踏まえ、次のような形式が基本となります。



- ・各シートはA4判(両面使用可)に統一
- ・各学年での蓄積は数ページ(5枚以内)



● 「キャリア・パスポート」の取り組み方

求められているのは、日常のワークシートや日記、手帳や作文などをそのまま蓄積することではありません。これらを基礎資料として生徒自らが「キャリア・パスポート」を作成することにより、学年もしくは入学から卒業までの中・長期的な振り返りと、将来への展望や見通しができることです。



● 「キャリア・パスポート」の管理と引き継ぎ

「キャリア・パスポート」は、小学校入学から高校卒業までの記録を学年、校種を越えて引き継ぎ、学びの振り返りや見通しに活かすものです。個人情報を含むことを想定し、キャリア・パスポートの管理は学校で行い、学年間の引き継ぎは教員間で行うことが原則となります。また、転出の際には、転入に係る文書等に合わせて転入する学校へ提出することとし、校種間の引き継ぎも学校間で行うこととします。